

7月19日

岩手県中学校総合体育大会（県中総体）

ソフトテニス競技 女子団体の部 優勝 軟式野球競技 第3位

7月19日（土）～7月21日（月・祝）に行われた岩手県中学校総合体育大会で、大槌学園ソフトテニス部が女子団体の部で優勝、大槌学園野球部（釜石中・甲子中合同チーム）が3位に輝きました。ソフトテニス部女子団体は8月に行われた東北大会に出場し、同大会の個人の部でも澤舘彩乃さん臼澤蒼さんペアが3位入賞を果たし、同じく東北大会に出場しました。

- ①一番印象に残っている試合は？
- ②部活動を通じて、楽しかったことや嬉しかったことは？
- ③今後の目標を教えてください。



ソフトテニス部部长 澤舘 彩乃 さん

①県中総体団体戦の平泉戦。澤舘・材津（8年生ペア）が前回負けた相手との対戦でしたが、粘り勝ち、チームが勝利しました。この勝利が優勝への鍵になりました。

②辛いことも悲しいことも、声を掛け合っ  
て乗り越えてくれたので、このチーム  
で本当に良かったです。

③部活動で学んだことを、いろんな場面で  
生かしていきたいです。後輩たちには、  
みんなの手本になれるリーダー的な存在  
になってもらいたいです。

野球部主将 小田嶋 葵佐 さん

①中総体ベスト4を決めた花巻BBCとの試合です。先制され悪い流れでしたが、誰一人諦めることなく、最後まで戦うことができました。

②自分たちで決めた目標を達成できたことや、釜石中、甲子中のみんなに会えたことです。

③顧問の先生から学んだことが財産になったので、いつか自分も野球の指導に関わりたいです。

7月23日

大槌町遺族会会長 越田征男さん

日本遺族会より表彰

大槌町遺族会会長の越田征男さんが、長きにわたり戦没者遺族の顕彰ならびに遺族の援護にご尽力されたことが認められ、6月29日（日）に一般財団法人日本遺族会より終戦80周年記念として表彰されました。7月23日（水）に町長に表敬訪問し、受賞を報告しました。越田さんは平成5年から大槌町遺族会会長を務め、平成11年からは岩手県遺族連合会理事に就任しました。平成21年度からは、厚生労働大臣から委託され、遺族相談員として、戦没者遺族の援護のための相談、指導、助言などを行っています。また町の戦没者追悼式では、長年にわたり遺族の代表として、「恒久平和への思い」を追悼のこたばを通じて伝えています。



8月4日

ふるさとへの思いを込めて

大槌駅で帰省者を迎える七夕飾り

8月4日（月）、大槌町老人クラブ連合会女性部を中心に、大槌駅で七夕飾りが行われました。新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に中断しましたが、令和4年度から活動を再開し、毎年行われています。

女性部長の三野宮佳志子さんの「今日も暑いですが、みんなで飾り付けましょう」という発声から始まり、ふるさとへの思いを込めながら、竹に短冊を飾り付けました。この飾りは女性部の皆さんが1年かけて作成したものです。

大槌町老人クラブ連合会会長の小國忠義さんは、「帰省する人に故郷を感じてほしい。ふるさとを忘れてほしくない」と活動への思いを語りました。



黙とう



町長あいさつ



愛称考案者の表彰



追悼の花火「あえーる」からの様子

令和5年度に着工した大槌町鎮魂の森「あえーる」が本年7月をもって完成し、8月5日（火）に完成記念式典を開催しました。

当日は、町長をはじめ町関係者、町議会議員、各町内会の役員など約60人が出席。平野町長は「震災の記憶を後世に伝えるとともに、犠牲者への鎮魂の祈りと震災復興の支援に対する感謝の場として未来への希望を抱き続ける決意が込められております」とあいさつしました。

また、愛称考案者の表彰も行われ、考案者の伊

藤正治さんは「この場所でのいろんな思いを語り合ってほしい、さまざまな思いがここで出会ってほしい」と願いを語りました。

式典終了後は、多くの遺族が訪れ、芳名碑の前で静かに手を合わせていました。

そして同月15日のお盆の夜。完成を記念して追悼の花火を打ち上げました。訪れた人たちは夜空を見上げ、1286発の花火に思いをはせました。



式典参加者による献花



一般献花

魂
森
鎮
の

大槌町鎮魂の森「あえーる」の  
完成記念式典を開催しました